

## 動物実験実施状況報告書

提出日 平成 27 年 8 月 17 日

動物実験責任者	[所属・職] 医療栄養学科 教授 (内線) 331 [氏 名] 小西 敏郎  印 [E-mail] t-konishi@thcu.ac.jp		
研究課題	医療栄養学科 2 年前期必修科目 解剖生理学実験Ⅱ	※承認番号	
動物実験の実施期間	平成 27 年 6 月 11 日 ~ 平成 27 年 7 月 29 日 (飼育期間: 平成 27 年 6 月 11 日 ~ 平成 27 年 6 月 17 日) (分析期間: 平成 27 年 6 月 16 日 ~ 平成 27 年 7 月 29 日)		
総合的実施状況	・総合的にみて、適正に実施することができたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→		
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→	
	動物数の削減	・使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→	
	動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→	
施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→		
教育訓練	・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか <input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適→		
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→		
その他			
※動物実験委員会の 意見等			


## 動物実験実施状況報告書

提出日 平成 27 年 11 月 18 日

動物実験責任者	〔所属・職〕 東が丘・立川看護学部 看護学科 (内線) 305	
	〔氏 名〕 小宇田 智子 印 [E-mail] t-kouda@thcu.ac.jp	
研究課題	ラット個別飼育ラックの飼育条件の検討	※承認番号
動物実験の実施期間	平成 27 年 5 月 11 日 ~ 平成 27 年 10 月 31 日	
総合的実施状況	・総合的にみて、適正に実施することができたか。	
	■適 □不適→	
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。
		■適 □不適→
	動物数の削減	・使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。
	■適 □不適→	
動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。	
	■適 □不適→	
施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。	
	■適 □不適→	
教育訓練	・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか	
	■適 □不適→	
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。	
	■なし □あり→	
その他		
※動物実験委員会の 意見等		

## 動物実験実施状況報告書

提出日 平成 28 年 2 月 29 日

動物実験責任者	〔所属・職〕 医療栄養学科 准教授 (内線) 363 〔氏 名〕 大舘 順子  [E-mail] j-ohdachi@thcu.ac.jp		
研究課題	医療栄養学科 3 年後期必修科目 栄養生理学実験	※承認番号	
動物実験の実施期間	平成 27 年 10 月 13 日 ～ 平成 28 年 1 月 22 日 (飼育期間:平成 27 年 10 月 13 日 ～ 平成 27 年 10 月 30 日) (分析期間:平成 27 年 10 月 13 日 ～ 平成 28 年 1 月 22 日)		
総合的実施状況	・総合的にみて、適正に実施することができたか。 ■適 □不適→		
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。 ■適 □不適→	
	動物数の削減	・使用動物数(実験使用数及び繁殖数)の削減に努めたか。 ■適 □不適→	
	動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。 ■適 □不適→	
施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。 ■適 □不適→		
教育訓練	・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか ■適 □不適→		
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。 ■なし □あり→		
その他			
※動物実験委員会の 意見等			

## 動物実験実施状況報告書

提出日 平成 29 年 4 月 8 日

動物実験責任者	〔所属・職〕 東が丘・立川看護学部・講師 (内線) 305 〔氏 名〕 小宇田 智子 印 [E-mail] t-kouda@thcu.ac.jp	
研究課題	閉経モデルラットにおける希少糖 D=ブシコースの膵島β細胞保護作用	※承認番号
動物実験の実施期間	平成 28 年 1 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 20 日	
総合的実施状況	・総合的にみて、適正に実施することができたか。	
	■適 □不適→	
3 R	動物の選択	・使用した動物種は適正であったか。また、動物を適正に用いたか。
		■適 □不適→
	動物数の削減	・使用動物数（実験使用数及び繁殖数）の削減に努めたか。
		■適 □不適→
動物の苦痛軽減 安楽死	・動物の苦痛軽減、排除及び安楽死を適正に行ったか。	
	■適 □不適→	
施設等の利用	・動物処置室及び動物実験・飼育室を適正に利用したか。	
	■適 □不適→	
教育訓練	・動物実験実施者及び飼養者に動物訓練を行ったか	
	■適 □不適→	
事故の発生	・事故報告書の提出に該当する事故の発生があったか。	
	■なし □あり→	
その他		
※動物実験委員会の 意見等		